

夢のつばさプロジェクト

2025年春キャンプ 学生報告書

【日程】 2025年2月22日(土)～24日(月)

【開催地】 国立科学博物館、(株) ブリヂストン保養所 奥多摩園(青梅市)

【参加者】 子ども：6名(高校生6名)

学生スタッフ・OB/OG含む(社会人を含む)：15名(途中入れ替わりも含む)

社会人スタッフ/協力者7名

◆2025春キャンプについて

今回も皆様より多大なるご支援とご協力を賜り、無事にキャンプを開催することができました。心から感謝申し上げます。

今回のテーマは「アイ(愛/eye)」といたしました。英語の「eye」から「視覚」を意識した企画を盛り込み、日本語の「愛」から本プロジェクトへの「愛」、そして子どもたち、スタッフ同士の「愛」を確かめ合うという「アイ」に溢れたキャンプとなりました。

2月のキャンプは初めての試みでしたが、国立科学博物館の訪問や外遊びをして、熱中症の心配をせず快適に過ごすことができました。また、進路が決まり心置きなくキャンプに参加できた高校3年生の子どもたちには夢のつばさの卒業という意味合いを込めた卒業式企画を行うことができ、この時期だからこそできた活動がたくさんありました。この3日間は日常から離れたところで羽を休めて、そしてまた広げ飛び立つための大切な時間を過ごすことができました。

以下にキャンプの詳細をご報告いたします。

◆スケジュール・概要

	1日目(2月22日)	2日目(2月23日)	3日目(2月24日)
午前	送迎	企画「格付けチェック・ 気配斬り」	閉会式
午後	国立科学博物館見学	勉強時間 自由時間	送迎

		企画「利きうまい棒・マシュマロチャレンジ」	
夜	開会式 国立科学博物館振り返り		

<1日目>

◆国立科学博物館見学・開会式・見学の振り返り

国立科学博物館では、子どもたちそれぞれの興味・関心に沿って館内を巡りました。行ってみて特に良かったのは、子どもたちが学校で得た知識を博物館の展示と結びつけながら理解を深めていたところです。教科書に載っている字面だけの知識が、実際に展示物を見て直接触れることで



好奇心が刺激され、実態のある知識に変わっていくようでした。「これは授業で習った○○なんだ!」と嬉しそうに話す姿がとても印象的で、学びがより生き生きとしたものになっていく様子が伝わってきました。

夕食後、セミナールームで行われた開会式では学生スタッフが本キャンプのテーマやスケジュールなどについて説明し、先生方から一言ずつご挨拶をいただきました。

見学の振り返りではチームに分かれて博物館の内容についてクイズを出し合いました。見学した全員が博物館の展示内容に沿った問題を考え、書いた本人以外がチームになって早押しで答えるという企画です。「この展示物はどの時代のもの?」「この物質を軽い順に並べよ」など、ひねりの効いた問題があり、子どもたちは博物館で得た知識をフル活用して真剣に考えていました。ゲーム感覚で楽しみながら学びを振り返ることで、博物館で得た知識をより深い理解につなげることができました。

<2日目>

◆企画「格付けチェック・気配斬り」

今回の「格付けチェック」企画では目隠しをした状態で3種類のチョコレートを試食し、最も高級だと思うものを選びました。味や甘さだけでなく、チョコレートの厚み、香りなど食感や風味の微妙な違いを真剣に話し合っている子どもたちでした。



気配斬り企画では子ども・スタッフ関係なくトーナメント制で行いました。カーペットの上だと気配を感じにくいいため、靴ひもと手首に鈴をつけて音が鳴るようにしました。前回の秋の交流会で上位に入った参加者が序盤で敗退するなど、予測不能な展開もあり、白熱した試合となりました。

◆勉強時間

昼食後には、1時間の勉強時間がありました。キャンプの回を重ねるごとに子どもたちの成長が見られる時間でもあります。入試や学年末テストがちょうど終わり、進学や進級を見据えた勉強を各自で進めていました。それぞれが心から「学びたい」と思う分野を持っており、それに向かい進んで学問を深めていく姿は、私たちスタッフにとっても刺激を受けるものがありました。

◆利きうまい棒・マシュマロチャレンジ

2日目の午後は2つ企画を行いました。まずは「利きうまい棒」という企画を行い、目隠しをした状態で4種類の味のうまい棒を食べて、何味なのか予測するというゲームでした。キャンプテーマ「アイ(eye)」になぞらえ、目隠しをした企画でしたが、似た味の区別に苦戦する様子を見せつつも、視覚以外の感覚を研ぎ澄ませながら真剣に企画に取り組んでいました。



次は、昨年の秋の交流会に引き続き、「マシュマロチャレンジ」という企画を行いました。パスタの乾麺をつなぎ合わせた塔を作り、塔の頂上に乗せたマシュマロの高さを競うゲームです。子どもたちが時間ギリギリまでより高い塔の制作に挑戦しており、企画を存分に楽しんでいる様子が見られました。

<3日目>

◆閉会式

3日目の朝食後、セミナールームで閉会式を実施しました。お互いの良いところを記した「アイ(愛)カード」を作成し交換する時間を最初に設けました。そしてその後は、今回のキャンプで夢のつばさを卒業する4人の子どもたちを対象に「夢のつばさ卒業式」を行いました。卒業証書の裏面には、スタッフからの祝福のメッセージが添えられており、新生活をスタートさせる子どもたちの背中を押すような温かい言葉の詰まった特別な証書となりました。今後も夢のつばさが子どもたちの拠り所となれるよう、一同力を合わせて活動を続けてまいります。



夢のつばさプロジェクト学生代表 お茶の水女子大学2年 五十嵐美咲